



2025年5月9日

各位

会社名 株式会社 中広  
代表者名 代表取締役社長 大島 齊  
(コード番号 2139: 東証スタンダード・名証プレミア)  
問合せ先 取締役管理本部長 倉橋誠一郎  
(TEL 058-247-2511)  
(URL <https://www.chuco.co.jp/>)

## 個別決算における特別損失（関係会社株式評価損）の計上及び 通期個別業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2025年5月9日開催の取締役会において、2025年3月期の個別決算における特別損失の計上について、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。また、2025年2月7日に公表しました2025年3月期の個別業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 個別決算における特別損失（関係会社株式評価損）の計上について

当社の連結子会社である株式会社関西ぱどの株式について、個別貸借対照表上の簿価に対する実質価値が著しく低下していることから、「金融商品に関する会計基準」に基づく関係会社株式評価損 86百万円を特別損失として計上することといたしました。当該関係会社株式評価損につきましては連結決算上消去されるため、連結上の計上はありません。連結決算に与える影響につきましては、本日公表しました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

#### 2. 通期個別業績予想と実績との差異

2025年3月期通期（累計）個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,000	284	187	27.50
実績値 (B)	7,589	241	68	10.03
増減額 (B-A)	△410	△42	△118	
増減率 (%)	△5.1	△15.0	△63.5	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	7,610	283	186	27.39

#### 差異の理由

当社グループは、VC加盟社※とともに、「全国5,000万世帯に、ハッピーメディア®『地域みっちゃん生活情報誌®』を直接お届けする」ことを中長期の経営目標として拡充を進めており、2025年3月末時点で34都道府県、180誌、月間総発行部数は1,345万部をVC加盟社とともにお届けしております。当社の直営誌としては、当事業年度に北海道で「AO(あお)」(千歳市・恵庭市、月間61,000部)、愛知県で「オレンジクラブ」(蒲郡市・額田郡幸田町、月間35,000部)、「フリモかわら」(碧南市・高浜市、月間42,400部)、和歌山県で「まいとん」(橋本市・かつらぎ町、23,000部)、広島県で初となる「はつカラ」(廿日市市、月間41,000部)、「えるびん」(福山市、月間65,000部)を新規創

刊し、2025年3月末時点で16道県（対前期+2県）、77誌（対前期+6誌）、月間総発行部数473万部（対前期+33万部）となりました。

この結果、当社単体の売上高は、主力の『地域みっちゃく生活情報誌®』の売上は堅調に推移したものの、地域の景況感の盛り上がり不足によるセールスプロモーション事業の苦戦や通信販売事業における受注の減少等により、7,589百万円（前期比5.1%減）となりました。利益面は、前回予想における紙代上昇等の原価率の上昇を上回る変動利益を確保できなかったことから、経常利益は241百万円（前期比15.0%減）での着地となりました。また、前述の「1. 個別決算における特別損失（関係会社株式評価損）の計上について」の通り、当社単体決算において関係会社株式評価損を特別損失として計上した結果、当期純利益は68百万円（前期比63.5%減）となりました。

※VC契約とは

Voluntary Chain（ボランタリー・チェーン）契約。お互いの経営を尊重し発行元責任を持ちつつ、全世代の読者に安心・安全な各戸配布型の無料情報誌を、ハッピーメディア®「地域みっちゃく生活情報誌®」ブランドで発行します。この契約により、当社はVC加盟契約先企業より、商標使用料及びシステム使用料を得ております。VC契約を推進する目的は、当社のフリーマガジンの考え方（地域密着・厳格な掲載基準・正確な配布部数・レスポンス重視）に賛同する企業と共同してフリーマガジン事業を全国展開することで、広告事業を通じて地域経済の活性化に貢献するとともに、全国規模の良質なフリーメディア広告インフラを迅速に整備することです。

以上